



今月のテーマ 「離床センサー KYT 第2弾」

先月号の離床センサー KYT が好評を頂いたため、引き続き「離床センサー KYT シート 第2弾」を作成しました。現場での何気ない風景の中に危険要因はたくさん潜んでいます。KYT（危険・予知・トレーニング）を行うことで、事故が発生する前に危険を予測し、防ぐことができます。ぜひ現場でのヒントにしてください！

シーン①

入院患者 D さん



- ・認知症で歩行不自由
- ・夜間のトイレ回数が多し

D さんをトイレまで誘導した所で別の業務で呼ばれました。

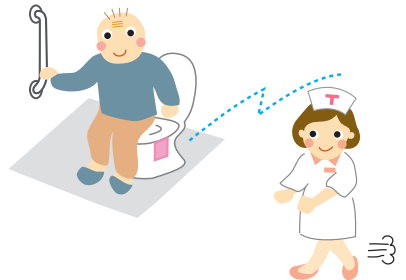
予測

どんな危険がありますか？



対策

どんな対策が必要ですか？



用足し後、1人で歩こうとして転倒する。

- ・便座からの立位を補助する物(手すりなど)
- ・立ち上がった事を知らせるセンサー(トイレコール)

シーン②

入院患者 E さん



- ・自立歩行不安定
- ・アセスメント結果 危険度 II
- ・毎日点滴を行っている

E さんへの対応策

- ・床センサー設置
- ・訪室による見守り強化

予測

どんな危険がありますか？



対策

どんな対策が必要ですか？



センサーを踏んでも鳴らない。

センサーの上には重量物を乗せない様にする。

シーン③

入院患者 F さん



- ・自立歩行不可能
- ・移動時は車いすを利用

F さんへの対応策

- ・床センサー設置

予測

どんな危険がありますか？



対策

どんな対策が必要ですか？



センサーを踏んでも鳴らない。
センサーの故障に繋がる。

車いすを利用の際には、センサーを折り畳み、一時的にベッド下へ収納する。



来月号もご期待ください。